

国際仏教学大学院大学研究紀要  
第 27 号 (令和 5 年)

Journal of the International College  
for Postgraduate Buddhist Studies  
Vol. XXVII, 2023

斎藤明教授 略年譜・著作目録



## 齋藤明教授略年譜

- 1950 年 11 月 27 日 東京・浅草に生まれる
- 1969 年 3 月 東京都立上野高等学校卒業
- 1970 年 4 月 東京大学教養学部文科三類入学
- 1972 年 4 月 同 文学部第 1 類倫理学専修課程進学
- 1976 年 3 月 同 卒業
- 1979 年 3 月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専門課程  
修士課程修了
- 1979 年 4 月 同 博士課程進学
- 1981 年 6 月 オーストラリア国立大学アジア研究学部 Ph.D. コ  
ース給費留学
- 1984 年 3 月 同 修了
- 1984 年 3 月 東京大学大学院人文科学研究科印度哲学専門課程  
博士課程単位取得退学
- 1984 年 4 月 東京大学文学部助手
- 1988 年 4 月 三重大学人文学部助教授
- 1993 年 4 月 同 教授
- 2000 年 4 月 東京大学大学院人文社会系研究科教授
- 2016 年 3 月 同 定年退職
- 2016 年 4 月 国際仏教学大学院大学教授
- 2016 年 6 月 東京大学名誉教授
- 2023 年 3 月 国際仏教学大学院大学教授退職

### その他国内勤務

武蔵大学、信州大学、名古屋大学、筑波大学、東京大学、北海道大学、  
三重大学、東北大学、早稲田大学、東洋大学、大正大学、皇學館大学、  
愛知大学、国際仏教学大学院大学他にて非常勤講師を歴任

2015 年 12 月～現在 成田山仏教研究所客員研究所員

**海外勤務（客員教授）**

- 1993年10月～1994年3月 ナーガールジュナ大学（インド）  
 2011年7月 中国人民大学（中国）  
 2014年3月～6月 ウィーン大学（オーストリア）

**所属学会**

日本印度学仏教学会、国際仏教学会、東方学会、日本宗教学会、日本仏教学会、仏教思想学会、日本チベット学会、インド思想史学会、パーリ学仏教文化学会、他。

**学会等役員**

- 2000年9月～2016年3月 日本西藏（チベット）学会委員  
 2001年6月～現在 仏教思想学会理事  
 2004年10月～2017年3月 比較思想学会理事  
 2005年10月～2020年9月 日本学術会議哲学委員会連携会員（第20期～第24期）  
 2006年9月～現在 日本印度学仏教学会理事  
 2007年9月～現在 IUOAS（国際オリエント・アジア研究連合）  
 副会長  
 2008年9月～2014年9月 日本印度学仏教学会理事長  
 2009年9月～2013年9月 東方学会常務理事  
 2011年1月～2014年12月 IABS（国際仏教学会）理事  
 2016年12月～現在 東洋学・アジア研究連絡協議会会長  
 2017年6月～2021年6月 東方学会常務理事  
 2020年10月～現在 日本学術会議歴史学委員会特任連携会員（第25期）  
 2021年4月～現在 仏教思想学会理事長  
 2021年6月～現在 東方学会理事長

**学位・栄誉**

- 1979年3月 東京大学大学院人文科学研究科 修士  
1985年5月 オーストラリア国立大学 Ph.D.  
1989年5月 日本印度学仏教学会賞 日本印度学仏教学会  
1994年11月 東方学会賞 東方学会  
2011年10月 中村元東方学術賞 東方研究会・インド大使館  
2014年7月 仏教思想学術賞 仏教思想学会



## 斎藤明教授著作目録

## 著書

1. [共編著] 『スタイン蒐集チベット語文献解題目録』第4, 第5分冊, 東洋文庫, 1980.3 (131 pp.), 1981.3 (159 pp.). (山口瑞鳳他と共編著)
2. [共編著] *Index to the Saddharmapuṇḍarīkasūtra* — Sanskrit, Tibetan, Chinese — , Fascicles 1-11, 佛乃世界社, 1985.4~1993.10, 1193 pp. (江島惠教他と共編著)
3. [単著] *A Study of Akṣayamati(=Śāntideva)'s Bodhisattvacaryāvatāra as Found in the Tibetan Manuscripts from Tun-huang* (Research Report of the Grant-in-Aid for Scientific Research (C), 1990.4-1993.3, Mie University), 1993.3, 124 pp.
4. [共著] 『魂の探究 — 東西の<魂>をたずねて — 』三重学術出版会, 1995.3, 239 pp. (松井良和編, II.3「仏教と魂」pp. 143-164 を分担執筆)
5. [共著] 『同一性の探求』三重学術出版会, 1998.3, 177 pp. (伊東祐之編, III.1「アイデンティカルな自己を求めて — アートマン論争とその背景 — 」 pp. 114-133 を分担執筆)
6. [単著] *A Study of the Dūn-huáng Recension of the Bodhisattvacaryāvatāra* (Research Report of the Grant-in-Aid for Scientific Research (C), 1997.3-2000.3, Mie University), 2000.3, 110 pp.
7. [共著] 『情の探究』三重大学出版会, 2002.3, 164 pp. (山岡悦郎編, II.2.1「共感の論理 — 自他の平等性をめぐって — 」 pp. 103-115 を分担執筆)
8. [共著] 『ヒト、人、人間』(東京大学公開講座 75) 東京大学出版会, 2002.11, 257 pp. (佐々木毅編, 「インド宗教思想のヒト・人・人間観」 pp. 227-247 を分担執筆)
9. [共著] 『有限と無限』三重大学出版会, 2006.3, 179 pp. (遠山敦編, II.2.1

- 「有為と無為」 pp. 105-116 を分担執筆)
10. [編著] 『大乘仏教の起源と実態に関する総合的研究 — 最新の研究成果を踏まえて — 』(平成 15-18 年度科学研究費補助金・基盤研究 (B)(2) 研究成果報告書), 2007.3, 277 pp.
  11. [編著] *Mahāyāna Buddhism: Its Origins and Reality*, Acta Asiatica 96, Tokyo: The Tōhō Gakkai, 2009.2, vi+126 pp.
  12. [共著] 『自然の探究』三重大学出版会, 2009.3, 164 pp. (片倉望編, II.2.4 「仏教における行為と自然環境」pp. 149-158 を分担執筆)
  13. [共編著 (代表)] 『『俱舍論』を中心とした五位七十五法の定義的用例集』(Bibliotheca Indologica et Buddhologica 14) 山喜房佛書林, 2011.2, xi+222 pp.
  14. [共編著] 『大乘仏教とは何か』(「シリーズ大乘仏教」第1巻) 春秋社, 2011.6, xii+288 pp.
  15. [共編著] 『大乘仏教の誕生』(「シリーズ大乘仏教」第2巻) 春秋社, 2011.12, x+266 pp.
  16. [共編著] 『空と中観』(「シリーズ大乘仏教」第6巻) 春秋社, 2012.11, xii+226 pp.
  17. [共著] 『因果の探究』三重大学出版会, 2013.3, 181 pp. (秋元ひろと編, II.2.1 「仏教における行為と因果 — 複人称の倫理 — 」 pp. 121-130 を分担執筆)
  18. [共編著 (代表)] 『瑜伽行派の五位百法』(パウツダコーシャ II) (Bibliotheca Indologica et Buddhologica 16) 山喜房佛書林, 2014.2, xii+319 pp.
  19. [編著] *Buddhism and Debate: The Development of Mahāyāna Buddhism*, Acta Asiatica 108, Tokyo: The Tōhō Gakkai, 2015.2.
  20. [共著] 『愛の探究』三重大学出版会, 2017.3, (遠山敦編, II.2.4 「仏教における愛と慈悲」 pp. 113-122 を分担執筆)
  21. [共編著 (代表)] *The Seventy-five Elements (dharma) of Sarvāstivāda in the Abhidharmakośa-bhāṣya and Related Works*, Bauddhakośa VI, Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies,



2018.10, xiv + 165 pp.

22. [編著] *What Is Tathāgatagarbha: Buddha-Nature or Buddha Within?*, Acta Asiatica 118, Tokyo: The Tōhō Gakkai, 2020.2, v + 104 pp.
23. [共編著] 『仏典解題事典・第三版』春秋社, 2020. 12.
24. [編著] *The Heart Sūtra Revisited: The Frontier of Prajñāpāramitāhṛdaya Studies*, Acta Asiatica 121, Tokyo: The Tōhō Gakkai, 2021.8, vi + 129 pp.
25. [共編著 (代表)] 『ステイラマティ『五蘊論釈』における五位百法対応語』 *Bibliotheca Indologica et Buddhologica* 27. 山喜房佛書林, 2022.3. xv+353 pp.
26. [共著] 『世界宗教圏の誕生と割拠する東アジア』（「アジア人物史」第2巻）集英社, 2023.2, (李成市編, 第1章「大乘仏教の成立：ナーガールジュナ」 pp. 3-22 を分担執筆)

## 学位論文

01. [Ph.D.] *A Study of the Buddhapālita-mūlamadhyamakavṛtti*, The Australian National University, 1984.8., 697 pp.  
(<https://digitalcollections.anu.edu.au/handle/1885/3>)

ANU Digital Theses Collection

## 論文

01. 「[Cañ-skya 宗義書における経量行中観自立派の章について] 『日本西蔵学会会報』 27, 1981.3, pp. 7-10.
02. 「『中論頌』解釈の異同をめぐって — 第13章「真実の考察」を中心として — 」 『仏教学』 14, 1982.10, pp. 65-88.
03. "Textcritical Remarks on the *Mūlamadhyamakakārikā* as Cited in the *Prasannapadā*," *Journal of Indian and Buddhist Studies* 33-2, 1985.3, pp. 842-846.
04. 「中観系資料」 『敦煌胡語文献』（講座敦煌 6, 山口瑞鳳編）大東出版社, 1985.8, pp. 311-347.

05. 「Akṣayamati 作・異本 *Bodhisattvacaryāvatāra* について」『日本西蔵学会会報』32, 1986.3, pp. 1-7.
06. 「敦煌出土アクシャヤマティ作『入菩薩行論』とその周辺」『チベットの仏教と社会』(山口瑞鳳編) 春秋社, 1986.11, pp. 79-109.
07. "A Note on the *Prajñā-nāma-mūlamadhyamakakārikā* of Nāgārjuna," *Journal of Indian and Buddhist Studies* 35-1, 1986.12, pp. 484-487.
08. 「『根本中論』チベット語訳批判」『仏教研究の諸問題』(平川彰編) 山喜房仏書林, 1987.4, pp. 221-246.
09. 「『根本中論』テキスト考」『高崎直道博士還暦記念論集・インド学仏教学論集』(前田専学他編) 春秋社, 1987.10, pp. 755-764.
10. 「<初期>中観派とブツダパーリタ」『仏教学』24, 1988.3, pp. 29-51.
11. 「無畏論と仏護註の譬喩表現」『印度学仏教学研究』37-2, 1989.3, pp. 859-864.
12. 「一乗と三乗」『インド仏教3』(岩波講座・東洋思想 10, 高崎直道他編) 岩波書店, 1989.8, pp. 46-74.
13. 「事(コト)と理(コトワ) 覚え書き — 仏教のダルマ(法)理論 — 」『論集』(三重大学人文学部・哲学思想学系) 6, 1990.3, pp. 91-110.
14. 「『中論頌』第1章・第8偈(前半部)の解釈およびチベット語訳文をめぐって」『印度学仏教学研究』39-2, 1991.3, pp. 888-892.
15. 「ナーガールジュナにおける自我とニルヴァーナ」『前田専学博士還暦記念論集・<我>の思想』(江島恵教他編) 春秋社, 1991.10, pp. 181-196.
16. 「仏教における<存在=機能>論 — 脳死問題によせて — 」『論集』7, 1992.3, pp. 125-151.
17. 「『入菩薩行論』の謎と諸問題 — 現行本第9「知恵の完成(般若波羅蜜)」章を中心として — 」『東方学』87, 1994.1, pp. 136-147.
18. 「初期本『入菩薩行論』にみるシャーンティデーヴァの思想 — 第8「知恵の完成」章を中心として — 」『東海仏教』39, 1994.3, pp. 98-114.
19. "Problems in Translating the *Mūlamadhyamakakārikā* as Cited in its

- Commentaries," *Buddhist Translations: Problems and Perspectives*, Delhi: Manohar Publishes, 1995.9, pp. 87-96.
20. "Śāntideva in the History of Mādhyamika Philosophy", *Buddhism in India and Abroad*, Mumbai, 1996.6, pp. 257-263.
21. 『入菩薩行論解説細疏』のシャーンティデーヴァ理解 『今西順吉教授還暦記念論集・インド思想と仏教文化』(藤井教公他編) 春秋社, 1996.12, pp. 582-594.
22. 『入菩薩行論解説細疏』の思想的立場をめぐって 『印度学仏教学研究』45-2, 1997.3, pp. 877-883.
23. 「本質－存在－作用 — 作用論者としてのナーガールジュナ — 」『論集』8, 1997.3, pp. 89-110.
24. "Bu ston on the sPyod 'jug (*Bodhisattvacaryāvātāra*)," *Transmission of the Tibetan Canon* (Proceedings of the 7th Seminar of the International Association for Tibetan Studies, Graz, 1995, vol.III), Österreichische Akademie der Wissenschaften, Philosophisch-Historische Klasse, Denkschriften, 257 Band, Wien, 1997.4, pp. 79-85.
25. 『入菩薩行論』新旧両本における自我批判 『日本仏教学会年報』62, 1997.5, pp. 49-62.
26. "Bhāviveka and the *Madhya(anta)vibhāga/-bhāṣya*", *Journal of Indian and Buddhist Studies* 46-2, 1998.3, pp. 1032-1038.
27. 「空と言葉 — 『中論』第24章・第7偈の解釈をめぐって — 」『宗教研究』72-1, 1998.6, pp. 27-52.
28. 「バーヴィヴェーカの勝義解釈とその思想史的背景」『論集』9, 1999.3, pp. 66-81.
29. "Remarks on the Tabo Manuscript of the *Bodhisattvacaryāvātāra*," *Tabo Studies II: Manuscripts, Texts, Inscriptions and Arts*, Serie Orientale Roma 87, Rome, 1999.12, pp. 175-189.
30. 「プトゥンと『入菩薩行論解説[細疏]』」『印度学仏教学研究』48-2, 2000.3, pp. 1030-1035.
31. 「バヴィアの規定する *Madhyamaka* とその解釈をめぐって」『加藤純章

- 博士還暦記念論集・アビダルマ仏教とインド思想』(和田壽弘他編) 春秋社, 2000.10, pp. 267-279.
32. 「空性論者から縁起論者へ — Buddhapālita を中心として — 」『空と実在』(木村清孝編) 春秋社, 2000.11, pp. 93-115.
33. 「*Bodhi(sattva)caryāvātāra* と *Śikṣāsamuccaya*」『印度哲学仏教学』16, 2001.10, pp. 326-353.
34. 「アクシャヤマティとシャーンティデーヴァ」『木村清孝博士還暦記念論集・東アジア仏教—その成立と展開』春秋社, 2002.11, pp. 533-551.
35. 「セルリンパが伝承する『入菩薩行論』とその思想」『阿部慈恩博士追悼論集・仏教の修行法』春秋社, 2003.1, pp. 372-406.
36. 「『大智度論』所収の『中論』頌考」『東洋文化研究所紀要』143, 2003.3, pp. 189-224.
37. 「『無畏論』の著者と成立をめぐる諸問題」『印度学仏教学研究』51-2, 2003.3, pp. 863-869.
38. 「セルリンパの秘説「11 の主要義」とは何か」『日本西蔵学会々報』49, 2003.5, pp. 3-12.
39. 「『無畏論』とその成立年代 — 『般若経』の引用を手がかりとして — 」『仏教学』45, 2003.12, pp. (1)-(29).
40. "Remarks on \*Akṣayamati (Blo gros mi zad pa), being the author of the earlier version of the *Bodhisattvacaryāvātāra*," *Buddhism in Global Perspective*, Mumbai: Somaiya Publications, 2003, pp. 308-317.
41. "Notes on the Interpretation of *Bodhi(sattva)caryāvātāra* V.104-106," *Gedenkschrift J. W. de Jong*, ed. by H.W. Bodewitz and M. Hara, Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 2004.3, pp. 135-147.
42. "Bhāviveka's Theory of Meaning," *Journal of Indian and Buddhist Studies* 52-2, 2004.3, pp. 924-931.
43. 「空・唯識・仏性」『根源へ — 思索の冒険』(岩波講座・宗教 4, 末木文美士他編) 岩波書店, 2004.3, pp. 77-104.
44. 「『中観心論』の書名とその成立をめぐる諸問題」『印度学仏教学研究』53-2, 2005.3, pp. 832-838.

45. "Bhāviveka's Theory of Perception," *Journal of Indian and Buddhist Studies* 54-3, 2006.3, pp. 1212-1220.
46. "Śāntideva's Critique of 'I' or Self in the Early and Later Recensions of the *Bodhi(sattva)caryāvatāra*," *Studies in Indian Philosophy and Buddhism* 13, 2006.3, pp. 35-43.
47. "Is Nāgārjuna a Mādhyamika?," *Hokekyō to Daijōkyōten no Kenkyū (Studies in the Saddharmapuṇḍarīkasūtra and Mahāyāna Scriptures)*, 2006.6, pp. 153-164.
48. 「*Ita ba 'i khyad par* における「経(部)中観」の意味」『印度学仏教学研究』55-2, 2007.3, pp. 910-918.
49. 「バーヴィヴェーカの識二分説批判」『印度学仏教学研究』56-2, 2008.3, pp. 897-903.
50. 「バヴィア作『論理炎論』の識二分説批判」『多田孝正博士古稀記念論集・仏教と文化』2008.11, pp. (141)-(156).
51. "Nāgārjuna's Influence on the Formation of the Early Yogācāra Thoughts — from the *Mūlamadhyamakārikā* to the *Bodhisattvabhūmi* —," *Journal of Indian and Buddhist Studies* 58-3, 2010.3, pp. 1212-1218.
52. "An Inquiry into the Relationship between the *Śikṣāsamuccaya* and the *Bodhi(sattva)caryāvatāra*," *Studies in Indian Philosophy and Buddhism* 17, 2010.3, pp. 17-24.
53. 「二諦と三性 — インド中観・瑜伽行両学派の論争とその背景 — 」『印度哲学仏教学』25, 2010.10, pp. 335-348.
54. 「新出『中論頌』の系統をめぐって」『印度学仏教学研究』59-2, 2011.3, pp. 956-964.
55. "Bhavya's Critique of the Sāṃkhya Theory of *pratibimba*," *Studies in Indian Philosophy and Buddhism* 18, 2011.3, pp. 13-22.
56. 「大乘仏教とは何か」『大乘仏教とは何か』（「シリーズ大乘仏教」第1巻）春秋社, 2011.6, pp. 3-38.
57. 「観音（観自在）と梵天勧請」『東方学』122, 2011.7, pp. 1-12.
58. 「大乘仏教の成立」『大乘仏教の誕生』（「シリーズ大乘仏教」第2巻）

- 春秋社, 2011.12, pp. 3-35.
59. 「ナーガールジュナとく無記>説」『印度学仏教学研究』60-2, 2012.3, pp. 966-971.
60. 「中観思想の成立と展開 — ナーガールジュナの位置づけを中心として — 」『空と中観』（「シリーズ大乘仏教」第6巻）春秋社, 2012.11, pp. 3-41.
61. "Proof of the Authenticity of the Mahāyāna in Akṣayamati's *Bodhi(sattva)caryāvātāra*," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 57, 2012.12, pp. 48-60.
62. "Buddhapāliṭa's Metaphorical Expression," *Journal of Indian and Buddhist Studies* 61-3, 2013.3, pp. 1181-1173.
63. 「観音（観自在）と『観音経』 — 鳩摩羅什訳の謎をめぐって — 」『伊藤瑞叡博士古稀記念論文集・法華文化と関係諸文化の研究』山喜房佛書林、2013.2, pp. 179-189.
64. "A Shape in the Mist: On the Text of Two Undetermined *Sūtra* Citations in the *Prasannapadā*," *Studies in Indian Philosophy and Buddhism* 20, 2013.3, pp. 17-26.
65. 「アクシャヤマティ作『入菩薩行論』の大乘仏説論」『奥田聖應先生頌寿記念・インド学仏教学論集』校成出版社, 2014.3, pp. 685-694.
66. "Avalokiteśvara in the *Saddharmapuṇḍarīka-sūtra*," *Buddhism and Debate: The Development of Mahāyāna Buddhism*, Acta Asiatica 108, Tokyo: The Tōhō Gakkai, 2015.2, pp. 1-17.
67. "Reconsidering the Meaning of Emptiness in the *Vimalakīrtinirdeśasūtra*," *Journal of Indian and Buddhist Studies* 63-3, 2015.3, pp. 1256-1262.
68. 「『法華経』とイーシュヴァラ」『三友健容博士古稀記念論文集・智慧のともしび アビダルマ佛教の展開』山喜房佛書林, 2016.3, pp. 547-556.
69. 「シャーンティデーヴァの<廻向>論 — 新旧『入菩薩行論』最終章を中心として — (1)」『成田山仏教研究所紀要』40, 2017.2, pp. 57-69.

70. 「Nāgārjuna における空と縁起 — 『中論』第 24 章・第 18 偈の解釈をめぐって — 」『国際仏教学大学院大学研究紀要』21, 2017.3, pp. 1-32.
71. "Bhāviveka's Concept of *Prajñā* in the Context of the Two Truths," *Studies of Buddhist Culture* (仏教文化研究論集) 18, 2017.3, pp. 47-58.
72. 「シャーンティデーヴァの〈廻向〉論 — 新旧『入菩薩行論』最終章を中心として — (2)」『成田山仏教研究所紀要』41, 2018.2, pp. 57-71.
73. "Facts or Fictions: Reconsidering Śāntideva's Names, Life, and Works," 『国際仏教学大学院大学研究紀要』22, 2018.3, pp. 145-164.
74. "Avalokīśvara and Brahmā's Entreaty," *Bulletin of the International Institute for Buddhist Studies* 1, 2018.10, pp. 1-13.
75. 「シャーンティデーヴァの〈廻向〉論 — 新旧『入菩薩行論』最終章を中心として — (3)」『成田山仏教研究所紀要』42, 2019.2, pp. 63-83.
76. 「『般若心経』とアヴァローキテーシュヴァラ (観自在)」『東洋の思想と宗教』36, 2019.3, pp. 1-22.
77. 「『宝性論』の *tathāgatagarbha* (如来蔵) 解釈考」『国際仏教学大学院大学研究紀要』23, 2019.3, pp. 91-108.
78. "Bhāviveka versus Candrakīrti on the Logic of *Mūlamadhyamakārikā*: Negation of Arising in the Four Possible Ways," *International Journal of Buddhist Thought and Culture* 29-1, 2019.6, pp. 11-27.
79. "*Prapañca* in the *Mūlamadhyamakārikā*," *Bulletin of the International Institute for Buddhist Studies* 2, 2019.10, pp. 1-9.
80. 「シャーンティデーヴァの〈廻向〉論 — 新旧『入菩薩行論』最終章を中心として — (4)」『成田山仏教研究所紀要』43, 2020.2, pp. 51-64.
81. "Buddha-Nature or Buddha Within? Revisiting the Meaning of *Tathāgata-garbha*," *What Is Tathāgatagarbha: Buddha-Nature or Buddha Within?*, Acta Asiatica 118, Tokyo: The Tōhō Gakkai, 2020.2, pp.

1-15.

82. 「『入菩薩行論解説細疏』の「八不」解釈」『国際仏教学大学院大学研究紀要』24, 2020.3, pp. 168-192.
83. "Bhāviveka on *Prajñā*," *Archaeologies of the Written: Indian, Tibetan, and Buddhist Studies in Honour of Cristina Scherrer-Schaub*, Napoli: Unior Press, 2020, pp. 517-525.
84. 「シャーンティデーヴァの〈廻向〉論 — 新旧『入菩薩行論』最終章を中心として — (5)」『成田山仏教研究所紀要』44, 2021.2, pp. 37-60.
85. "Svakāyadṛṣṭi Reconsidered," *Illuminating the Dharma: Buddhist Studies in Honour of Venerable Professor KL Dhammajoti*, Centre of Buddhist Studies, The University of Hong Kong, 2021.4, pp. 337-346.
86. "Avalokiteśvara in the *Prajñāpāramitāhṛdaya*," *The Heart Sūtra Revisited: The Frontier of Prajñāpāramitāhṛdaya Studies*, Acta Asiatica 121, Tokyo: The Tōhō Gakkai, 2021.8, pp. 1-21.
87. 「シャーンティデーヴァの〈廻向〉論 — 新旧『入菩薩行論』最終章を中心として — (6)」『成田山仏教研究所紀要』45, 2022.2, pp. 33-59.
88. "The Meaning of *Satkāyadṛṣṭi*," *Bulletin of the International Institute for Buddhist Studies* 5, 2022.10, pp. 1-12.
89. 「シャーンティデーヴァの〈廻向〉論 — 新旧『入菩薩行論』最終章を中心として — (7)」『成田山仏教研究所紀要』46, 2023.2, pp. 63-98.
90. 「『中論』の論理再考」『国際仏教学大学院大学研究紀要』27, 2023.3, pp. 1-17.

### 書評・学会動向紹介

01. 「回顧と展望（1988年の歴史学界・内陸アジア3・チベット）」『史学雑誌』98-5, 1989.5, pp. 281-283.
02. "Review of T.J.F. Tillemans, *Materials for the Study of Āryadeva*,



- Dharmapāla and Candrakīrti*, vols.1 & 2 (Wiener Studien zur Tibetologie und Buddhismuskunde, Heft 24), Wien, 1990," *Acta Orientalia* 53, 1992.12, pp. 199-204.
03. 「書評： 本多恵『チャンドラキールティ中論註和訳』国書刊行会，1988；奥住毅『中論註釈書の研究 — チャンドラキールティ「プラサンナパダー」和訳 — 』大蔵出版，1988』『宗教研究』66-3, 1992.12, pp. 146-150.
04. 「書評： 奈良康明監修『ブツダから道元へ — 仏教討論集』東京書籍，1992』『宗教研究』67-1, 1993.6, pp. 174-180.
05. 「[海外東方学界消息] 第九回国際サンスクリット学会に出席して』『東方学』88, 1994.7, pp. 176-181.
06. 「[海外東方学界消息] 第十回国際サンスクリット学会に出席して』『東方学』94, 1997.7, pp. 89-96.
07. 「[第35回国際アジア・北アフリカ研究会議(ICANAS)・部会報告] 仏教研究・サンスクリット研究』『東方学会報』73, 1997.12, pp. 25-29.
08. [訃報]「江島恵教教授の逝去を悼む』『南アジア研究』11, 1999.10, pp. 202-204.
09. "A Report on the XIIth IABS Conference (Lausanne, Aug.23-28,1999)," *Mahāpiṭaka* (Newsletter), New Series 5, 2000.1, pp. 5-6.
10. 「[第36回国際アジア・北アフリカ研究会議 (ICANAS)・部会報告] 仏教学』『東方学会報』79, 2000.12, pp. 31-34.
11. "A Report on the XXXVIth International Congress of Asian and North African Studies (Montreal, Aug.27-Sept.2, 2000)," *Mahāpiṭaka* (Newsletter), New Series 6, 2001.1, pp. 7-8.
12. [訃報]「Jan Willem de Jong 教授を偲ぶ』『印度学仏教学研究』50-2, 2002.3, pp. 734-739.
13. 「[第48回国際東方学者会議 (ICES) 報告] シンポジウム IV : 大乘仏教、その起源と実態 — 近年の論争と最新の研究成果から』『東方学会報』84, 2003.7, pp. 17-20.
14. "Symposium IV: Mahāyāna Buddhism: Its Origins and Reality—On the

- Basis of Recent Controversy and Achievements," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 48, 2003.12, pp. 130-134.
15. 「[第 37 回国際アジア・北アフリカ研究会議 (ICANAS)・部会報告] 仏教学」『東方学会報』87, 2004.12, pp. 14-18.
16. 「第 19 回国際宗教学宗教史会議世界大会に出席して」『東方学会報』88, 2005.7, pp. 36-38.
17. "A Report on the XIVth International Association of Buddhist Studies (London, Aug.29-Sept.3, 2005)," *Mahāpiṭaka* (Newsletter), New Series 11, 2006.1, pp. 6-7.
18. 「第 14 回国際仏教学会に出席して」『東方学』111, 2006.1, pp. 147-153.
19. 「[第 51 回国際東方学者会議 (ICES) 報告] シンポジウム III: 大乘仏教、その虚像と実像 — 経典から論書へ」『東方学会報』90, 2006.8, pp. 15-17.
20. "Symposium III: "Mahāyāna" Buddhism: Its Images Virtual and Real, from Sūtras to Śāstras," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 51, 2006.12, pp. 141-145.
21. 「[第 38 回国際アジア・北アフリカ研究会議 (ICANAS)・部会報告] インド仏教関係」『東方学会報』93, 2007.12, pp. 21-22.
22. 「[第 53 回国際東方学者会議 (ICES) 報告] シンポジウム V: 仏典翻訳の過去・現在・未来 — 『日英基準訳語集』構築に向けて — 」『東方学会報』94, 2008.7, pp. 19-22.
23. "Symposium V: "Past, Present, and Future in the Translation of Buddhist Texts: Toward the Creation of a Standard Japanese-English Glossary," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 53, 2008.12, pp. 142-146.
24. "A Report on the XVth International Association of Buddhist Studies (Atlanta, 23-28 June, 2008)," *Mahāpiṭaka* (Newsletter), New Series 14, 2009.1, pp. 4-6.
25. 「[第 61 回学術大会] パネル発表報告: 仏教用語の現代語訳と定義的用例集 (パウツダコーシャ) の構築に向けて」『印度学仏教学研究』

- 59-2, 2011. 3, pp. 803-804.
26. 「[第 56 回国際東方学会議 (ICES) 報告] シンポジウム IV : 仏教と論争—大乘仏教の展開とその宗教思想史的背景—」『東方学会報』100, 2011.7, pp. 17-19.
27. "Symposium IV: "Buddhism and Debate: The Development of Mahāyāna Buddhism and Its Background in Terms of Religio-Philosophical History," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 56, 2011.12, pp. 157-160.
28. 「[第 57 回国際東方学会議 (ICES) 報告] シンポジウム V : 大乘仏説・非仏説論再考 — インド・中国・日本における事例をめぐって — 」『東方学会報』102, 2012.7, pp. 20-22.
29. "Symposium V: "Rethinking the Debate about Whether or Not the Mahāyāna Was Taught by the Buddha: With Reference to Examples from Indian, China, and Japan," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 57, 2012.12, pp. 174-178.
30. [追悼録] 「高崎直道先生を偲ぶ」『東方学』127, 2014.1, pp. 209-213.
31. [訃報] 「高崎直道先生を偲ぶ」『印度学仏教学研究』62-2, 2014.3, pp. 249-254.
32. 「[第 59 回国際東方学会議 (ICES) 報告] シンポジウム II : 仏典翻訳論考 — 「すぐれた翻訳」をめぐって — 」『東方学会報』106, 2014.7, pp. 13-15.
33. "Symposium II: "The Translation of Buddhist Texts: On 'Outstanding' Translations," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 59, 2014.12, pp. 121-125.
34. 「[第 62 回国際東方学会議 (ICES) 報告] シンポジウム IV : 仏典翻訳の裏表 — 南北両伝の翻訳事情」『東方学会報』112, 2017.7, pp. 27-29.
35. "Symposium IV: "Aspects of the Translation of Buddhist Texts: The Situation in Northern and Southern Traditions," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 62, 2017.12, pp. 121-126.

36. 「パネル発表報告：インド学仏教学研究における国際情報発信と国際的学術交流 — その総括と展望」『印度学仏教学研究』66-2, 2018.3, pp. 730-731.
37. 「[第 63 回国際東方学者会議 (ICES) 報告] シンポジウム V : 如来蔵とは何か — 如来蔵・仏性思想研究の最前線 — 」『東方学会報』114, 2018.7, pp. 24-26.
38. "Symposium V: "What is Tathāgatagarbha: The Frontier of Research on Tathāgatagarbha and Buddha-nature Thought," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 63, 2018.12, pp. 142-145.
39. 「[第 64 回国際東方学者会議 (ICES) 報告] シンポジウム I : 『般若心経』を解体する — 般若心経研究の最前線 — 」『東方学会報』116, 2019.7, pp. 16-18.
40. "Symposium I: Dismantling the *Prajñāpāramitāhṛdaya*: The Frontier of *Prajñāpāramitāhṛdaya* Studies," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 64, 2019.12, pp. 121-124.
41. [追悼] 「柳瀬廣さんを偲ぶ」『東方学』139, 2020.1, pp. 165-166.
42. [追悼] 「伊藤瑞叡先生を偲ぶ」『仏教学』62, 2020.12, pp. 1-4.
43. 「[第 65 回国際東方学者会議 (ICES) 報告] シンポジウム V : <大乘> 仏教 — 学派・教理・教判の異同とその背景を探る — 」『東方学会報』120, 2021.7, pp. 20-22.
44. "Symposium V: " Mahāyāna Buddhism: Revisiting Differences between Schools, Tenets, and Doctrinal Classifications and Their Background," *Transactions of the International Conference of Eastern Studies* 65, 2021.12, pp. 159-164.
45. 「[内外東方学界消息] 国際中観研究ワークショップ」『東方学』144, 2022.7, pp. 89-95.
46. 「[第 66 回国際東方学者会議 (ICES) 報告] シンポジウム V : 仏教思想は甦るか — バウツダコーシャ・プロジェクトを総括する — 」『東方学会報』122, 2022.7, pp. 21-23.
47. "Symposium V: "Will Buddhist Thought Be Reborn? A Summing-up of the

*Buddhakośa Project," Transactions of the International Conference of Eastern Studies, No.66, 2022.12, pp. 135-140.*

### その他 (小論等)

01. 「Nāgārjuna における二諦とその諸問題」『印度学仏教学研究』28-2, 1980.3, pp. 132-133.
02. 「『空七十論註』における Candrakīrti の二諦解釈」『印度学仏教学研究』29-2, 1981.3, pp. 638-639.
03. "Buddhapālita in the History of Mādhyamika Philosophy," *Transactions of the International Conference of Orientalists in Japan* 31, 1986.5., pp. 106-107.
04. 「龍樹作『四讚頌 (Catuḥstava)』について」『宗教研究』59-4, 1986.3, pp. 163-165.
05. 「「四種法界」考」『宗教研究』64-4, 1991.3, pp. 203-204.
06. 「中観思想史におけるシャーンティデーヴァの位置をめぐって」『宗教研究』69-4, 1996.3, pp. 173-175.
07. 「〈勝義〉および〈世俗〉概念の相対的適用とその背景」『宗教研究』70-4, 1997.3, pp. 201-202.
08. 「ナーガールジュナにおける「存在」の両義性」『宗教研究』71-4, 1998.3, pp. 203-204.
09. 「宗教の行方」(三重大学公開講座)『三重7大学公開講座・記録集』(三重県生涯学習センター), 1998.3, pp. 123-135.
10. 「研究報告: シャーンティデーヴァ作『入菩薩行論』の伝承と変容 — 初期本テキスト発見秘話 — 」『古典学の再構築・ニューズレター』8, 2000.11, pp. 11-19.
11. 「*Bodhi(sattva)caryāvatāra* と *Śikṣāsamuccaya* の伝承をめぐって」『論集・伝承と受容 (世界)』(「古典学の再構築」研究成果報告集 VI・B01「伝承と受容 (世界) 班研究報告」2003.3, pp. 8-21.
12. 「東洋学の壁」『東洋学研連ニュース』3, 2004.4, pp. 15-16.
13. 「である空、と知る空、となる空」『三枝充恵著作集』第5巻・龍樹「月

- 報」4, 2004.9, pp. 2-4.
14. 「いのちの叫び — 仏教と生命倫理 — 」『añjali』8, 2004.12, pp. 16-17.
  15. 「仏教と平和」『比較思想研究』（成田山臨時大会号）比較思想学会, 2004.11, pp. 7-13.
  16. 「<シンポジウム>国際的視点から見る二十一世紀の密教」『密教学研究』37, 2005.3, pp. 139-163 (esp. pp. 146-151, 160-161).
  17. 「欲望の功罪 — 仏教的心理論における欲・貪欲・愛欲をめぐる — 」『人文知の可能性』（日本学術会議哲学系 公開シンポジウム 提題レジュメ集）第 19 期日本学術会議・哲学研究連絡委員会, 2005.9, pp. 218-220.
  18. 「中観思想入門（上）」『大法輪』72-12, 2005.12, pp. 132-137.
  19. 「<シンポジウム>カミとほとけ — 宗教文化とその歴史的基盤 — 」『論集・カミとほとけ』（ザ・グレートブッダシンポジウム 論集第3号）東大寺, 2005.12, pp. 85-111 (esp. pp. 85-89, 100-106).
  20. 「中観思想入門（下）」『大法輪』73-1, 2006.1, pp. 144-149.
  21. 「東洋学の現状とその課題」（創立 60 周年記念・座談会）『東方学』114, 2007.7, pp. 129-186.
  22. 「学問の思い出 — 高崎直道博士を囲んで — 」(座談会・司会)『東方学』117, 2009.1, pp. 217-251.
  23. 「編集後記」『東方学』119, 2010.1, p. 264.
  24. 「<シンポジウム>現代社会と仏教（平成 20 年度第 50 回記念・天台宗教学大会）」『天台学報』51, 2010.2, pp. 1-81 (esp. pp. 57-63, 76, 80).
  25. 「<シンポジウム>いま仏教に望まれるもの — 二十一世紀の仏教のあり方を考える — 」(駒澤大学仏教経済研究所第 6 回シンポジウム、基調講演)『仏教経済研究』39, 2010.5, pp. 201-274 (esp. pp. 204-228).
  26. 「比較思想とは何か — 方法論的な回顧と展望 — 」『比較思想研究』（特集「比較思想の展望」）38, 2012.3, pp. 1-4.
  27. "Religions and Peace: With Special Reference to Buddhism," 2011 *Civilization and Peace: Resolution of Conflict in Korea, East Asia and*

- Beyond, Humanistic Approach*, Gyeonggi-do: The Academy of Korean Studies Press, 2012.4, pp. 149-158.
28. 「セッション No.2 の発表に対するコメント (渡辺章悟「般若経の成立過程 — 智の展開を中心として —」、伊藤進傳「文殊問経の成立と受容」)」『日本仏教学会年報』 77, 2012.7, pp. 223-226.
  29. 「[主題別討議報告：仏教思想の倫理的可能性・提題3] 複人称の倫理学 — 仏教的行為論の性格をめぐって — 」『倫理学年報』 62, 2013.3, pp. 70-73.
  30. 「仏教思想は甦るか — 仏典、翻訳、そして現代」『国際哲学研究』(東洋大学国際哲学研究センター) 3, 2014.3, 58-63.
  31. "How Can Buddhist Thought Be Brought Back to Life?: Buddhist Scriptures, Terms, and Translation in Present-day Japan (Eng. tr. of the above article no. 30)," *ibid.*, pp.249-255.
  32. 「進展する大乘仏教研究のいま — 『シリーズ大乘仏教』(全10巻)の完結によせて」『春秋』(春秋社) 557, 2014.4, pp. 13-15.
  33. 「いろは歌と仏教、そして日本語」『ことのは』(ことのは書林) 8, 2014.12, pp. 10-13.
  34. 「般若経の特色 — 『般若経大全』刊行に寄せて — 」『春秋』(春秋社) 568, 2015.5, pp. 9-11.
  35. 「縁起と空 — 『中論』三諦偈解釈をめぐって — 」『叡山学院研究紀要』 38, 2016.3, pp.167-193.
  36. 「縁起と空」『仏教文化』(東京大学仏教青年会) 55, 2016.3, pp. 59-81.
  37. "Buddhist Translations Past, Present, and Future: With a Focus on Chinese and Tibetan Renderings," *Journal of Cultural Interaction in East Asia* 8, 2017.3, pp. 17-26.
  38. "Śāntideva," *Brill's Encyclopedia of Buddhism*, Vol. II: Lives, 2019.7, pp. 391-397.
  39. 編集協力：『岩波哲学・思想事典』(廣松涉他編), 岩波書店, 1998.3 (インド・チベット仏教関連項目編集 [項目選定・校閲等] 協力) .  
同 : 『東京大学所蔵仏教関係貴重書展—展示資料目録—』(平成

13年6月20日～7月4日) 東京大学附属図書館, 2001.6 (インド・チベットの写本・刊本関連の企画・編集・解題執筆他) .

同 :『岩波仏教辞典第二版』(末木文美士他編), 岩波書店, 2002.10  
(インド・チベット仏教関連項目の選定・執筆・校閲等に関する編集協力)

40. 事典(辞典)項目執筆:『仏教・インド思想辞典』(高崎直道他編, 春秋社, 1987.4), 『岩波仏教辞典』(中村元他編, 岩波書店, 1989.12), 『南アジアを知る事典』(辛島昇他編, 平凡社, 1992.10), 『岩波哲学・思想事典』(廣松渉他編, 岩波書店, 1998.3), 『東京大学所蔵仏教関係貴重書展一展示資料目録一』(東京大学附属図書館, 2001.6), 『岩波仏教辞典第二版』(末木文美士他編, 岩波書店, 2002.10), 『[新版] 日本の仏教を知る事典』(奈良康明編著, 東京書籍, 2005.8), 『宗教学文献事典』(島菌進他編, 弘文堂, 2007.12), 『仏教心理学キーワード事典』(井上ウィマラ他編, 春秋社, 2012.5), 『世界宗教百科事典』(井上順孝他編, 丸善出版, 2012.12), 『仏典解題事典』[第三版](斎藤明他編, 春秋社, 2020.12), 『仏教事典』(日本佛教学会編、丸善出版, 2021.1) .